

技術者が小学生に伝える「ものづくりの楽しさ」

富山の子どもたちにものづくりの楽しさを伝え、
未来の科学者を育てようと、「ものづくり教室」に技術者たちが参加している。

事業背景

富山県富山市は北陸電気工業の創業地。

創業以来抵抗器をはじめとして、機構部品、回路基板、センサ、圧電部品、モジュール製品を開発、供給している同社のアドバンスデバイス研究開発部門。

技術者の採用背景

- 地元周辺大学との関係あり
- 業界 OB の採用あり

地域振興活動

■富山ものづくり教室

2014年5月、北陸電気工業本社において、電子情報技術産業協会（東京）の「富山ものづくり教室」が開かれ、地元の大沢野地域の小学校3校の5・6年生30人が参加。電子回路を組み立てて、電子オルガンの製作をした。ものづくりの楽しさを子どもたちに伝え、未来の科学技術者を育てることが目的である。

指導したのは、同協会富山地区に所属する北陸電気工業、富山村田製作所、コーチセル、SMKの25人の技術者。

抵抗器やコンデンサーなど約20個の部品を基板に、はんだごてを使って取り付けた。鍵盤部分に触ると電気が流れスピーカーから音が出るようになり、子どもたちは大喜び。

完成した電子オルガンにシールを貼って飾り付けたり、全員で「かえるのうた」を演奏したりして楽しんだ。

